

Funehiki High School News vol.73

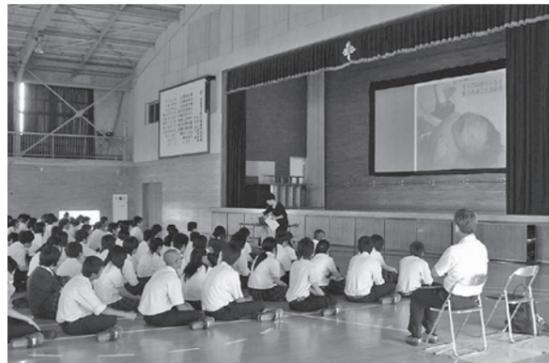
◆校内球技大会

7月16日(火)、17日(水)の2日間、校内球技大会が開催されました。男子はサッカー、ソフトボール、バスケットボール、女子はバスケットボール、バレーボール、バドミントンのそれぞれ3種目で熱戦が繰り広げられました。天候にも恵まれ、スポーツを通してクラスの親睦が一層深まりました。総合順位は以下の通りです。(総合順位) 1位…2年2組
2位…3年3組
3位…3年2組



◆性に関する講演会

7月12日(金)、性に関する講演会が行われました。講師の助産師さんからは「大人へのところとからだのステップ～高校生の『今』を大切に～」という演題で、高校生を取り巻く性の現状などについてお話をいただきました。暑い中での講演会でしたが、生徒一人一人が講師の話を真剣に耳を傾けていました。今回の講演により、生徒たちがこれまで以上に正しい知識を身に付け、適切な意思決定や行動選択ができるようになってほしいと願っています。



◆賞状伝達式

7月19日(金)、第1学期の終業式に先立ち賞状伝達式が行われました。陸上競技部をはじめ卓球部や吹奏楽部など、各大会で優秀な成績を収めた生徒・団体に対し、学校長より賞状が伝達されました。また、書道のたなばた展や漢字能力検定において上位入賞、上位級への合格を果たした生徒も呼名され、代表生徒に合格証などが手渡されました。全校生からは、賞状を受け取る生徒に対し惜しめない拍手が送られ、仲間の榮譽を共に祝おうとする温もりが感じられるひとときとなりました。



◆部活動紹介

夏休み中の部活動の様子を2つご紹介いたします。美術部は船引町の「灯籠流し大会」に向けて灯籠作りに励みました。その結果、美術部Bチームが大会実行委員長賞を、同Aチームが福島民友新聞社賞を受賞しました。



卓球部は、夏休み中の2つの大会に向けて、これまで以上に練習に励んでいます。

多くの部で3年生が引退し、新体制がスタートしています。フレッシュな顔ぶれによる新人戦などでの活躍、公開文化祭「鵬翼祭」などでの発表が今から楽しみです。



海	を	越	え	て
英	語			
	指	導	助	手
ペ	ン	リ	レ	ー
			No.	3

夏の日思い出



Dan O'Brien
ダン・オブライエンさん
(アメリカ合衆国
オハイオ州出身)

私は夜眠りに就く時、十代の時にしていたように、ベッドのそばの窓を少しだけ開けるようになっていました。屋根の上で踊る雨や夜の空気の匂いが私に故郷の夏を思い出させてくれます。



アメリカの夏は、日本の夏と似ているところと異なっているところの両方があります。私は英語指導助手をしていますので、私にとって最も大きな違いは学年度です。アメリカでは3カ月の夏休みがあります。まだアメリカの大部分で農業が行われていた頃、家族が1年間食べていけるだけの十分な収穫ができるように、子供たちは一日中親の手伝いをしました。3カ月の休みの

は主に労働(子供にとってはかなりの重労働)のために使われました。この農業カレンダーは今でも変わらず、アメリカで農業州と言われているところがあります。しかし、今では大多数の生徒は、夏休み中に農業を手伝うことなく楽しむことができます。日本では学校での授業や活動がほぼ一年中ありますが、日本の生徒たちも午前中のクラブ活動だけの余裕あるスケジュールを楽しむことができます。休息や遊びに時間を取ったり、中には午後友達と一緒に釣りに出かけたりの生徒もいます。生徒同士が夏を楽しんでいる様子を見ると、私はほほ笑ましく思います。



しかし、本当に夏を特別にするのは一緒に過ごす時間です。全ての季節を有意義にするのは人と過ごす時間なのです。夏の間アメリカと日本のどちらでも、私たちはバーベキューをしたり、森の中をハイキングしたり、外で夕方を過ごしたりします。夏休みに大学から家に帰ると、私は夕方ポーチで父親と一緒に過ごしました。一緒にコーヒーを飲みました。方一杯のコーヒーを手に持ってペランダに行き、アメリカと同じ大きな太陽が地面に低く下りて来て、電線と街路にキスするの眺めています。

